

第 1 言語分科会

| | |
|---|----|
| 文末の「～シテイル」とそれに対応する中国語について | 43 |
| 我国日语研究的现状与问题（彭 広陸） | 45 |
| 日汉交替传译小议 | |
| ——从两篇口译试题谈起（続 三義）..... | 47 |
| 中日言語比較研究と「三平面」理論 | 50 |
| ——清華大学日本語文化国際フォーラムのために（呉 大綱） | |
| 日语分词技术在日语教材开发中的应用构想（施 建軍） | 52 |
| “V+上”と「V+上げる/上がる」のアスペクト的意味（林 璋） | 55 |
| コーパスを利用した日本語の複合動詞の研究（杉村 泰） | 58 |
| 日汉指示词之间的语义与功能差异（王 亜新） | 61 |
| プロトタイプ理論に基づいた受動構文の日中対照（葉 菁） | 64 |
| 連語論から見る「上」＋空間名詞について（高橋弥守彦） | 66 |
| テモラウ構文と使役文・受身文との相補関係（王 燕） | 68 |
| 关于日语汉字的定位问题（潘 鈞） | 70 |
| 中日 V+N 定中結構二字語の比較（朱 京偉） | 72 |
| 日本語新聞（電子版）の見出しについて（許 羅莎） | 74 |
| 『今昔物語集』“被”字結構解析 | 77 |
| ——以「天竺部」「震旦部」中出現的例句为考察对象（杨 金萍） | |

[\(目次へ\)](#)

文末の「～シテイル」とそれに対応する中国語について

大連外国語学院 張 岩紅

0. はじめに

日本語の文末の「～シテイル」は、中国語の“正、在、正在”“着”“呢”などに対応すると言われている。たとえば、《八百词》には次のような例文が見られる。

- (1) 问题正摆在我们面前。(《八百词》p. 670)
問題はまさに我々の前におかれています。
- (2) 红旗在飘扬。(《八百词》p. 645)
紅旗がひるがえっている。
- (3) 我们正在学习。(《八百词》p. 672)
私たちはちょうど勉強しているところです。
- (4) 他穿着一身新衣服。(《八百词》p. 666)
彼は新しい服を着ている。
- (5) 他睡觉呢。(《八百词》p. 413)
彼は眠っています。
- (6) 我们正讨论呢。(《八百词》p. 447)
我々は今、討論しているところだ。
- (7) 门开着呢。(《八百词》p. 444)
ドアがあいている。
- (8) 我正念叨着你呢。(《八百词》p. 413)
ちょうど君のことが気になっていたんだ。

日本語の文末の「～シテイル」はいろいろな場合に使われる。本稿では、連語レベルで中国語の“正、在、正在”“着”“呢”などと対応する日本語の文末の「～シテイル」を分析し、中国語と日本語の対応関係を明らかにするとともに、中国語と対応しない他の文末の「～シテイル」はなぜ中国語と対応しないのかを明らかにする。また、中国語では、中国語の“正、在、正在”“着”“呢”などの中国語表現にはどのような違いがあるのかも明らかにする。

1. 文末の「～シテイル」

文末の「～シテイル」は、吉川武時(『日本語文法入門』)によれば、以下の5類に分かれる。工藤真由美(『アスペクト・テンス体系とテキスト』)も吉川と用いている術語の違いがあるものの基本的には同様とみなせるであろう。

- i. 花子は手紙を書いている。(進行の状態：継続動詞)
- ii. 花子の部屋の窓が開いている。(結果の状態：結果動詞)
- iii. 花子の部屋は南に面している。(もとの状態)
- iv. 花子は学生時代に富士山に登っている。(経験：動詞の種類に関係ない)
- v. 花子は毎日ワープロで日記を書いている。(くりかえし：動詞の種類に関係ない)

文末に用いるこれらの「～シテイル」が中国語ではどのように対応しているのかを実例

によって調べてみよう。

(9) 江戸時代にくらべると、今日の私たちは驚くほどの外来の文化、また西欧の刺激によって、伝統的にもっていかなかった文化要素を消化している。

与江戸时代相比，如今我们在外来文化以及西欧国家的影响下，正大量地吸收那些在自身传统中所没有的文化要素。

(10) 私はテニスとバスケット・ボールをやっています。

我在打网球和篮球。

(11) 近頃、バンコクのテレビでは、日本のテレビの時代劇などがタイ語の吹き替えで放映されている。

最近，曼谷的电视台正在播放译成泰语的日本历史剧。

(12) 我々はひどくしんとした松林の中を歩いていた。

我们在死一般寂静的松林中走着。

(13) そこで、私は、この問題をもっと経験的なレベルで、社会人類学の立場から分析し、その正体を追究してみたいと、かねがね思っていた。

为此，我早就想结合亲身体验，从社会人类学的角度进行分析，以搞清问题的实质。

(14) 家に帰ると、12時を回っていた。

我回到家，已是深夜12点钟了。

(15) ひとりっ子は、生まれたときからずっとおとなにかこまれて生活しています。

独生子女一出生下来就生活在大人的保护圈里。

(16) 僕は三十七歳で、そのときボーイング747のシートに座っていた。

37岁的我端坐在波音747客机上。

上掲の例文のうち、例(9)から(12)までは、《八百词》などの例文にもみられるように、日本語の文末の「～シテイル」が中国語の“正、在、正在”“着”“呢”などと対応している。例(13)から(16)までは両者が対応していない。しかし、日本語のアスペクトという観点から見ると、日本語はいずれもアスペクトとして表現されている。中国語は動態助詞“着”だけがアスペクトであり、後は時間副詞“正、在、正在、已”と語気助詞“呢”と時間を表す動詞連語“一出生来”“生活在”および言語環境と“端坐在”とによって、日本語のアスペクトを表現している。この点から日本語のアスペクト表現「～シテイル」はどの動詞の後にも付けられるという柔軟性があることが分かる。それに対し、中国語は動詞と動態助詞“着”との関係ではかなり厳しい言語規則のあることがわかる。上掲の例文に見られるかぎりでは具体的な動作行為動詞に限られている。

2. おわりに

日本語の「～シテイル」は、中国語では動詞との関係で多くの表現形式をとると言える。

我国日语研究的现状与问题

北京大学 彭 广陆

一、引言

近年来，我国的日语研究有了长足的进步，整体水平有了显著的提高。其原因有三：第一，我国的日语教育水平有了较大的提高，我国自己培养出来的高学历、高质量的日语教师和日语研究者的数量不断增加；第二，从日本留学归来的学有所成的海归派的人数有增无减；第三，各高等院校对于科研的重视程度大大提高了，因此对教师科研方面的要求也越来越严了，评职称时尤其如此。前两点为形成我国高水平的日语研究队伍奠定了坚实的基础，而后一点则是日语研究水平提高的一个直接动因。

日语研究队伍的日益壮大所带来的结果就是每年公开发表的日语研究方面的论文和正式出版的日语研究的专著的数量明显增加，可以说我国的日语研究已从萌芽的阶段稳步进入了发展的阶段。

二、取得的成就

我国的日语研究主要在语法研究、词汇研究（尤其是日语借词研究），语用学研究、日汉对比研究等方面取得了一些令人欣慰的成果。

为了给日语研究的论文提供发表的场所，不少学校不定期地编辑出版研究刊物。除了《日语学习与研究》继续发挥着重要的作用以外，商务印书馆出版的年刊《日语研究》也开始受到国内外日语界的瞩目。高质量的研究专著不断问世，代表着我国的日语研究达到了前所未有的高度。

每年都有一些院校邀请日本的著名学者前来讲学、讲座，不少学校还纷纷举办日语研究方面的研讨会，有不少国外的学者也参加研讨，这对提高我国的日语研究水平起到了直接的推动作用。

三、存在的问题

以下所涉及的问题均为我国日语界存在的普遍现象，不能不发人深思。

(1)有些搞研究的人治学态度存在问题，缺乏板凳甘坐十年冷的精神，表现为急功近利；有不少人为了评职称而写论文，为了完成科研任务而写论文；有的专著也不是长期研究的结晶，而有拼凑之嫌。

(2)有的人理论修养差，对普通语言学的基本常识和理论缺乏必要的了解。不少人对有关自己母语的研究漠不关心，汉语修养差是影响研究水平提高的一个重要原因。

(3)有不少人在研究方法上存在问题。比如，对前人研究的成果了解不够，别人早已提

到或解决的问题还以为是自己的新发现；有不少重复的研究，造成人力、物力的浪费；有的人没有掌握足够的资料就仓促动笔；有的人浅尝辄止，不进行跟踪研究，形不成系列研究，缺少深度和广度；甚至有的文章的论点前后矛盾；有的论文主观性太强，还没有把语言事实描写清楚就轻率地得出结论，而又不进行充分的论证；有的论文过分地依赖问卷调查的数据，而不愿意下功夫收集实例。近年来利用语料库的研究明显增加，但在语料库的使用上也存在一些问题。

(4) 缺少严谨的学风，规范意识差，引用别人的观点时引文不规范或根本不注明所出，术语使用不规范的现象也十分突出。

四、结语

尽管我国的日语研究存在着上述不容忽视的问题，这些问题不解决就会影响到我国日语研究的方向和地位，但是总的势头是良好的，前途是光明的。

我们应该进一步拓宽我们的研究领域，加强与我国的汉语界和日本的学界的对话，多开展一些各种形式的共同研究。

衷心祝愿我国的日语研究能够健康、持续地发展下去。

参考文献

彭广陆 2001「日本語研究の現況」『国文学 解釈と鑑賞』7月号、至文堂

彭广陆、鲍红 2001《外国语言学(英语除外)》《北京社会科学年鉴(2001)》北京出版社

彭广陆、鲍红 2002《外国语言学(英语除外)》《北京社会科学年鉴(2002)》北京出版社

彭广陆、鲍红、姚婕 2003《外国语言学(英语除外)》《2003北京社会科学年鉴》，北京出版社

彭广陆、鲍红、盛文忠、姚婕 2004《外国语言学(英语除外)》《2004北京社会科学年鉴》，北京出版社

彭广陆、鲍红、姚婕 2005《外国语言学(英语除外)》《2003北京社会科学年鉴》，北京出版社

日汉交替传译小议

——从两篇口译试题谈起

北京外国语大学 续 三义

中国国内ではいくつかの翻訳・通訳資格試験がある。中でも人事部の試験がオーソドックスなものであろう。しかし、翻訳・通訳資格試験であるからには、試験の形式（翻訳か通訳）、試験の文体（書写体か口語体）、試験の内容（中国のものか日本のもの）などといった相違と、通訳か翻訳かで、評価の基準も違うことだろう。小文では、人事部の通訳試験（二級）『大綱』の『口訳実務』模擬問題（様題）の分析を通し、そういった問題のあり方を検討しようとするものである。

一、问题的提起

1、国内的翻译证书考试

国内现在有了几个日语翻译证书考试，有的翻译证书考试也出了样题。其中，人事部的翻译证书有关交替传译的样题（以下简称“样题”）有点儿特色。本文想在这里提出来加以探讨，提出几点未必成熟的意见，以为口译考试的正规化提供理论及实际操作上的参考。

2、何谓口译？

口译，顾名思义，就是通过声音将说话者的语言内容用另外的语言表达出来的活动，口译大致可以分为两种形式：同声传译和交替传译。

3、口译语言的特色

一般我们总讲“书面语”和“口语”，口译语言的特色应该就是“口语”的特色。

4、口译的手法

不论是同声传译还是交替传译，它们都是口译。在几乎没有思考时间的情况下就要将讲话者所说内容用另外的语言表达出来，“顺译”也就是使用最多的手法。

5、口译的水平评判

翻译就是把一种语言信息转换成另外一种语言信息。因此，我们应该说，翻译的基本要求是语义的对应，不能有重要缺失，不能有过分增补，句式要合乎译出语的基本语法要求。不论对于“信、达、雅”的理解或解释如何，翻译中，对译入语要忠实，译出语要通顺畅达，这应该是翻译的最基本的要求。口译也应该是这样。

6、日译汉汉译日的有关特色

从功能上来讲，“日译汉”是通过它了解有关日本的信息，而“汉译日”则是通过它将中国的信息传达给日本读者。基于这种功能，对它们内容上的要求也就不言自明，“日译汉”要求它的内容应该是有关日本方面的，而“汉译日”，要求它的内容应该是有关中国方面的。如果在“日译汉”时采取的是有关中国方面的问题，而在“汉译日”时采取的是有关日本方面的问题，则似乎有“本末倒置”的感觉。对于它语言上的要求，无论是“日译汉”还是“汉译日”，不论形式上还是内容上都应该是“原汁原味”的东西。

二、“样题”的题材、内容与语言

7、“样题”的语体

由于“样题”是属于交替传译的试题，根据该考试有关交替传译的设置一览表中的规定，“日汉交替传译”为“总量约 3000 字的日语讲话三篇”，而“汉日交替传译”为“总量约 2100 字的汉语讲话三篇”。但是无论从日译汉还是从汉译日，“样题”的两篇文章都不是“讲话”。仅以“样题”的题目和文章的第一段为证。

日汉交替传译——社会的弱者に配慮し思いやりのある社会作り

四川省の田舎から成都市に出稼ぎに出ている楊さんは、ある家政婦派遣会社と賃金交渉した際、法定の最低賃金基準である 340 元を要求し、拒否された経験がある。

汉日交替传译——修宪凸显以人为本思想

在刚刚过去的一年中，修宪问题作为中国政治生活中的一件大事，引起了海外舆论界的广泛关注。从最初广泛听取社会各界意见到修宪草案出台，直至今年全国人大最终审议通过，中国宪法的第四次修改终于尘埃落定。

8、“样题”的内容

“样题”的日译汉所选择的资料，内容竟然是有关中国的情况——说的是中国劳动者社会保障的有关情况。

9、“样题”的语言

两篇“样题”都表现出较强的书面语色彩。

三、“样题”参考译文评析

日汉交替传译——参考译文——保护低收入群体彰显人文关怀

从乡下到成都打工的小杨，曾尝试着与某家政公司商讨报酬至最低工资标准 340 元，却被严词拒绝。

汉日交替传译——参考译文——基本的人権の尊重めざし改憲で「人間本位」明確に

改憲問題が昨年、中国の政治分野で重要な話題となり、国内外の世論の注目を集めた。初期の社会各界からの意見収集、改憲案の提出、今年の全国人民代表大会での最終審議、採択を経て、ようやく憲法の今回の改正が実現した。

10、增译

日译汉的题目，参考译文把“社会的弱者に配慮し思いやりのある社会作り”译成了“保护低收入群体彰显人文关怀”，其中，“低收入群体”，是译入语中完全没有的概念，而后半句中的“彰显”则是从“思いやりのある社会作り”中无论如何也很难推导出的意义，应该说是明显的“增译”。在第一段中，虽然日语中有“経験がある”一词，但是，把它译成“曾尝试着”，其中的“尝试着”则可以说是增译。“法定の最低賃金基準である 340 元を要求し”译成“商讨报酬至最低工资标准 340 元”，其中的“至”也应该是增译。而把“拒否された”译成“被严词拒绝”，其中的“严词”也是增译，并且没有必要。

在汉译日中，题目的增译也很明显。把“修宪凸显以人为本思想”译成“基本的人権の尊重めざし改憲で「人間本位」明確に”，其中的前半句话是完完全全的增译。

11、减译

日译汉“样题”中，对于译入语中的“社会的弱者”中“社会的”一词，在译出语中没有表达出来。在正文中，首先，最初的一个词语“四川省の”也没有译出。而且，比较重要的诸如“法定の最低賃金基準”中的“法定の”也没有译出。这都应该说是不正常的情况。

汉译日正文第 2 句中的“广泛”一词在译出语中没有出现。另外，对于“中国宪法的第四次修改”，参考译文把它译成“憲法の今回の改正”，缺少最基本的信息“第四次”。

12、误译

日译汉的题目，把“社会的弱者”译成“低收入群体”，这是译入语中完全没有的概念，而它又与文章作者所要表达的意思相差较大，应该说是一个重要的误译。因为，文章想要说明的并不仅仅只是“收入低的群体”，更重要的乃是“社会的弱势群体”，这既是译入语的原意，也是原作者所想表明的重点，参考译文把它译成了“低收入群体”，则完全扭曲了原作者的意思。另外，把“配慮”译成“保护”也值得商榷，一般还是把它译成“关怀”为好。对于“思いやりのある社会作り”，参考译文把它译成了“彰显人文关怀”，尽管意思还算说得通，但是，译入语本来要说的是“创建具有人文关怀的社会”这样的意思。

在翻译的过程中，对于译入语中的某些表达方式，诸如分散的句子，将它们加以综合，用比较简短的语言译出，这种情况我们可以称为“合译”。在日译汉“样题”正文第一段中，对于“賃金交渉した際”“を要求し”，参考译文采取合译的方式，将它译为“商讨”，虽然可以表达出一定的意思，但是还是使得译出语中的信息缺失严重，应该是属于误译。

四、小结

以上对口译特别是交替传译以及“样题”及其参考译文进行了简单的分析。在交替传译的过程中，增译、减译、合译或分译（留待以后分析）等都得遵循一定的标准，超越标准，则就会是误译。参考现有的“样题”，从口译的特色，即从“顺译”的特色出发，我们分析译文，可以对译文作如下调整：

日译汉——关怀社会弱势群体 创造具有人文关怀的社会

从四川乡下到成都打工的小杨，在与某家政公司谈报酬时，曾要求法定的最低工资标准340元，却遭到拒绝。

汉译日——改憲で「人間本位」の考えを明確に

昨年、改憲問題が中国の政治分野における大きな出来事として、広く国内外の世論の注目を集めた。初期の社会各界から広範囲の意見収集、改憲案の提出、今年の全国人民代表大会での最終審議、採択を経て、ようやくこの四回目の憲法改正が幕を降ろした。

中日言語比較研究と「三平面」理論

——清華大学日本語文化国際フォーラムのために

上海外国語大学 呉 大綱

日本語は、形態論的な表現手段としての格 (case) のフォームが発達しているの、格のフォームに注目するだけでも、言語現象の基本的な部分を把握することができるのに対して、中国語は、四角い漢字のみが表記の全てになっており、その相対的に独立性の強い漢字が、単語をなしたり、他の漢字と組み合わせて複合語をなしたり、あるいは、連語なり文なり作り出していくが、しかし、一個一個の独立した漢字が、多くの場合、単語 (word) をなしている。その中の一部の漢字が同時にまた文法的な意味を表す形態の役割を果たすのである。つまり、漢字は単語をなしているときは、実詞 (content word) と言い、文法的な意味を表すときは、虚詞 (function word) と言う。現代語において、虚詞として専用されている場合でも、形態素として使われる場合でも、元をただせば、みな実詞だったのである。品詞分けの問題ひとつだけ取り上げても、日本語は形態に従ってやれば大体おおきな大きな問題なしで付けられるのだが、中国語ではすごく大変な作業になるので、中国語文法研究の困難さはここに象徴的に現れる。

しかしながら、形態が発達するからといって問題がないわけではない。ある意味では、かえって表層構想にとらわれやすく、深層構想がみえにくい嫌いがある。たとえば中国語における連語の確認の場合、それぞれの単語の持つ語彙的な意味 (特にカテゴリカルな意味) に支えられた個々の単語の固有な結合能力によって組み立てられた両者を総合に考察して、連語に固有な結びつきの法則を見つけだして体系化するように、文法的な事柄と語彙的な事柄との総合関係の解明という原則論的にやらなければ、連語が見えてこないのだが、日本語における連語は、中国語と違って、形態論的な表現手段としての名詞の格のフォームが発達していることによって、連語は、既存の言語学の領域で、名詞の格の研究として扱おうとしたり、あるいは、語彙論の領域の問題として、単語に固有な結合能力の研究に解消したり、陳述をぬきにした文の構造の研究として扱おうとしたりしがちなのである。つまり、中国語にしても日本語にしても、言語の単位としての連語は、まだまだ一般的に認知されていないのが現状である。中日言語比較をするにあたって、何よりもまず共通のフィールドを築き上げることだと思う。

ここでいっている共通のフィールドとは、どんなものか、具体的な例を挙げて説明したい。たとえば、「ペンダントにさわる」のようなニ格の名詞を要求する動詞「さわる」はヲ格の名詞とも組み合わせることがある。「ペンダントをさわる」という時、どんな意味的な違いがあるのか、というようなことを説明する場合、その格助詞ニとヲに注目するようになりがちだろう。しかし、それを中国語との比較を通じてわたしたちは、格助詞ニとヲの違いというより、動詞のカテゴリカルな意味の違いが決定的だということに気がつくだろう。‘‘觸摸垂飾’’と‘‘抚摸垂飾’’との間の違いは、動詞の意味の違いだということが一目瞭然である。いままでのように、格助詞に意味を求めても所詮無理なことであり、もっとも大切なのは中国語との比較の土台が崩れてしまうということなのである。

ところで、このような実証的な研究はもちろん、おろそかにしてはならないのだが、研究の流れにも常に気を配るべきである。ここ十数年来、中国語の研究が飛躍的な進歩を見せており、そのなかで‘‘三个平面’’という理論の提示が最も注目されるべきだと思う。「三つの平面」とは、この理論の創始者の一人である胡裕樹氏が、《汉语语法研究的回顾与展望》の中で次のように述べている。

1981年、胡裕樹主编的《现代汉语》增订本出版。该书在讲到语序时说：“必须区分三种不同的语序：语义的、语用的、语法的。”1982年，胡附、文炼合写了一篇题为《句子分析漫谈》的文章发表在《中国语文》上。这篇文章除了进一步讨论语序外，还谈到了虚词，认为虚词的作用也有语义的、句法的和语用的区别。此外，文章还指出必须区分一般主语（陈述对象）与话题主语（即话题或主题），独立成分和提示成分等都是语用的成分。这样从语序到虚词，再到句子成分，就比较全面了；又把原来的“语法”改为“句法”。“语法”和“句法”只是一字之差，但把“句法”、“语义”、“语用”并提则意味着三者都属于语法研究的范围之内，在理论上、逻辑上就显得更加严密。接着，他们又发表了多篇文章，进行了多角度的探讨。其中重要的文章有：文炼《词语之间的搭配关系》（1982）、《关于句子的意义和内容》（1984）；胡裕樹《试论汉语句首的名词性成分》（1982），文炼、胡附《汉语语序研究中的几个问题》（1984）等。

また時期を同じくして、邢福義氏が“两个三角学说”を提示された。“两个三角学说”は、語表形式、語裡意義、語用価値という小三角と、普通語、方言、古典語という大三角からなっている。いずれも注目すべき文法研究理論である。中国語文法研究は歴史上かつてないほど百家争鳴百花齊放というすばらしい局面をみせている。わたしたち日本語研究者は、このような中国語研究のための新しい理論に無関心ではいられない。こうした中国語研究理論を検証し、いいものを日本語研究に役立てたいし、一方、不足の部分を経験と日本語との比較研究を通じて、中国語研究のために積極的に発信する。これは私たちの責任であり、義務であるということではないだろうか。

日语分词技术在日语教材开发中的应用构想

北京日本学研究中心 施建军

外语教学除了外语教师及其教学经验等人的因素外,外语教材可以说是外语教学的核心因素。如何提高外语教材的开发质量和效率、缩短开发周期、减轻老师的工作量一直是外语老师关心的课题。随着对自然语言计算机处理研究的不断深入,今年来自然语言处理领域的研究取得了丰硕的成果,有的已经达到实用水平,日语的分词、词性标注、读音标注技术就是其中的一项。国外已经有人将其应用在外语的辅助阅读上¹,如何应用这一技术直接服务外语教学尚未见报道。

一、日语的分词技术和分词系统的简介

和汉语一样,日语是一种书面语中单词之间没有物理界限的语言。因此,分词是日语计算机处理的基础工作。

根据学校语法,日语中至少存在3种小于句子的语言单位,因此,日语分词工作开始前必须确定分词的单位。即分词是切分出词、还是词素、还是句节。句节虽然是句法成分的直接构成单位,但是,由于句节定义本身存在缺陷和不足,导致用句节这个概念进行句法解释时容易引起混乱。如:

私は日本語の先生です

正确:(私は(日本語の先生)です)

错误:(私は/(日本語の/先生です/))

用句节分析句子引起的这种混乱在日语中不是个别现象。如果不作特殊处理,分词阶段将日语句子切分成句节将会给以后的句法分析造成一定的麻烦和困难。尽管如此,日本岐阜大学池田研究室还是开发了一个以句节为切分单位的分词系统(IBUKI),并且取得了较高的切分精度(98%)²。

从词形上讲,出现在日语句子中的单词和词典里的单词在形态上存在一定的差别。这是由于日语的动词、形容词、助动词具有丰富的形态变化,出现在句子中的一般都是这些词的变化形式。日语中动词“表す”(表示)这个词在句子中可能有如下的变化形式:表す、表さ、表せ、表し、表そ等。另外,日语中还存在着许多同形异义词,因此,如果笼统地将日文的分词工作看成将日语句子切分成单词是没有意义的。

切分成词素,也是有缺陷的。即把语言单位切分得过细,使得复合词往往被切碎。由于日语中词素和词在形态上一致的词很多,因此,日本现有的日语分词软件绝大多数都是以词素为单位进行日语句子的切分的,但是这些软件也同时注意到了尽可能不将复合词切碎。词素在日语中叫做形态素,因此日语的分词也叫形态素分析。

日语的形态素分析主要是完成四项工作:

- 1、分词:将日语句子切分成形态素。
- 2、活用形处理:将句子中用言的变化形态复原成词典里的词条形态
- 3、确定词性:日语的单词一般都有确定的词性。多数日语分词系统能够在分词的

¹ 如日本辅助阅读网站リーディング・チュウ太

² 岸井謙一等「文節解析システム ibuki と自動点訳システム IBUKI-TEN」
<http://ikd.info.gifu-u.ac.jp>

同时就给出词性。

4、 标注汉字读音：跟汉语一样，日语汉字具有多种读法，多音词很多。同样的汉字在不同的语境中的读音是不一样的。因此，日语汉字注音也是日语形态素解析的一项重要任务。

上世纪九十年代以后，在日本涌现了许多分词系统，如：富士通的 breakfast、NTT 的 すもも、日本奈良先端科技大学院大学松本研究室开发的 CHASEN 系统等。其中 chasen 最为有名，并且得到了广泛应用。

为了论证日语切分系统 chasen 在教材开发中应用的可能性，我们用 chasen 对夏目漱石小说《哥儿》进行分词，并抽取 30800 词进行校对，对其优点和局限性进行了分析。30800 词中出现错误 299 处，切分正确率为 99.03%。有这样的精度，在教材的开发上应该是可以利用的。

二、日语的分词技术在教材开发上的应用设想

日语教材的编撰一般经过以下几个步骤：(1)选材；(2)单词注释、单词查重、编排单词表、编排单词索引；(3)注释语法项目、语法项目查重、语法项目索引；(4)注释句型、句型查重、编排句型索引；(5)编写练习；(6)教材印刷。传统的教材编写方法主要是手工作业，外语教师工作量大，编材周期长，特别是在注释单词、编排单词索引、查找例句等环节要消耗大量人力，而且不可避免地会出现单词、句型、语法等的漏注和重注现象，影响教材的质量。

90 年代以来，由于激光照排业的兴起和计算机文字处理系统功能的完善，日语教材在编写过程中也应用了计算机，但是，这种应用主要是将计算机当作排版和印刷工具，来提高日语教材的印刷质量，计算机在编写教材的核心环节并没有真正发挥作用。

在日语教材的开发过程中应用日语的分词技术的主要思路是利用自然语言处理的新技术和数据库查询技术，特别是日语句子的计算机自动切分、词性自动标注、日文汉字读音的自动标注技术，凭借中日分类机器辞典、句型辞典和语料库，实现日语教材编撰过程中单词注释、单词查重、编排单词表、编排总单词表、句型查重、编排句型索引、索引生成的全自动化以及注释语法项目、语法项目查重、编排语法项目表、注释句型的半自动化。

要实现这一设想主要主要存在以下几个重点和难点：

- 1、日语句子自动切分和语法的自动标注
- 2、学校语法体系和句型语法体系的确定
- 3、计算机中日分类辞典的研制
- 4、单词自动查重、注释和索引
- 5、句型和语法项目的抽取、查重、注释以及例句查找

随着信息科学的迅猛发展，国内外在语言处理领域均取得了丰硕的成果。这些成果有的已经相当成熟，并且在许多领域得到了应用。近几年 IBM 公司推出的 Voicetype 语音录入系统，就是语音识别的研究成果在计算机输入上的应用。文字处理系统 WPS2000 和 WORD2000 中提供的语法纠错功能就是面向信息处理的语法学研究成果在计算机文字处理方面的应用。如何利用这些技术来服务外语教学也是值得我们研究的课题。

参考文献:

- [1] 松本裕治他 日本語形態素解析システム『茶筌』V2.0 使用説明書 Copyright
1999 年奈良先端科学技術大学院大学松本研究室
- [2] 金田一春彦他 日本語百科大事典 日本大修館書店 1988 年 5 月 1 日
- [3] 益岡隆志・田窪行則 基礎日本語文法 (改訂版) くろしお出版 1993 年 1
月

“V+上”と「V+上げる/上がる」のアスペクトの意味

福建師範大学 林 璋

中国語の“上”は，“V+上”の形で補語として用いられる場合，(1)が示すように，始動相を構成し，状態の変化を表わす。

- (1) a. 住上別墅
b. 用上自来水

本動詞としての“上”は，(2a)のように主体の位置変化を表すもの(“上1”)と，(2b)のように客体の位置変化をもつもの(“上2”)に分けられる。

- (2) a. 上车，上楼，上山，上街
b. 上菜，上药，上油漆

“上1”の意味については，主体がより高い場所に向かって移動し，そこに到達し，さらにそこに存在すると記述できるが，(2a)の“上街”のように，水平移動にも使われる。

“上2”の意味については，客体を移動させ，ある場所に到達させ，そこに存在させると記述できる。“上2”には[より高い場所へ]という意味特徴は必要としない。

“上1”の意味に近い日本語の動詞は「上がる」で，“上2”の意味に近い日本語の動詞は「上げる」であるが，「上げる」の場合は，[より高い場所へ]という意味特徴を必要とする場合もある。

- (3) a. 舞台に上がる，教室内には土足で上がるな
b. 本を棚の上に上げる，客を座敷に上げる (以上は『明鏡』)

「上がる/上げる」は，動詞の連用形に付いて合成語を作る場合，主体がより高い場所に向かって移動し，そこに到達し，さらにそこに存在するという意味を表すことが可能である。

- (4) a. 一人ひとりに声をかける小林さんの背中に、男の子が乗り上がった。
b. 昌平は耐えられなくなり、会社の屋上に駆け上げて大声で叫んだ。

「上がる」はさらに，事態に指向し，(i) (5a)のように事態の終結を表し，(ii) (5b)のようにその事態の極点状態に到達することを表す。

- (5) a. 焼きあがる，編みあがる
b. 震え上がる，のぼせ上がる，縮み上がる (以上は『明鏡』)

(5)に共通しているのは、[到達]という意味特徴である。(5a)の場合は、前の動詞は生産動詞であり、(5b)の場合は、前の動詞は程度に幅のある意味の動詞である。アスペクトで言えば、(5a)の場合は終結相を構成し、(5b)の場合は、アスペクトの性質を変えない。

「上げる」の場合も同様、生産動詞に付く場合は終結相を構成し、「徹底的に調べ上げる」や「ぴかぴかに磨き上げる」のように、幅のある状態の極点状態に到達することを表す。

中国語の“上”が“V+上”の形で補語として用いられる場合にも、(6)のように[到達]という意味を表すことがある。

- (6) a. 睡上1个小时
b. 喝上2杯

この場合、幅を示す数量詞と共起することが必要であるが、(7)のように、非過去の事態にのみ用いられる。

- (7) a. 睡上(*了)1个小时
b. 喝上(*了)2杯

中国語の“上1”は、補語として用いられる場合にも、主体がより高い場所に向かって移動し、そこに到達し、さらにそこに存在するという意味を表すことが可能である。

- (8) a. 登上山顶
b. 骑自行车

中国語の“上2”は、補語として用いられる場合、本動詞の場合と同じように、客体を移動させ、ある場所に到達させ、そこに存在させるという意味を表すことが可能で、[より高い場所へ]という意味特徴は必要としない。

- (9) 贴上邮票，寄上书信，把东西送上门

(范晓 1995)

主体または客体の移動以外の意を表す場合，“上1”と“上2”区別が中和される。范晓 1995 で言う(10a)のような結果構文(動結式)と(10b)のようなアスペクト的用法(動态式)においては、中和された“上”は[到達]という意味特徴を共通して持っている。

- (10) a. 吃上好菜，追上马车，闭上眼睛
b. 飘上雪花，干上一阵子，嚷嚷上了

了

(以上は范晓 1995)

ただ、そのうちの“飘上雪花”と“嚷嚷上了”は、新しい事態が発生したことをするところから、本稿では、それを始動相の用法と考える。

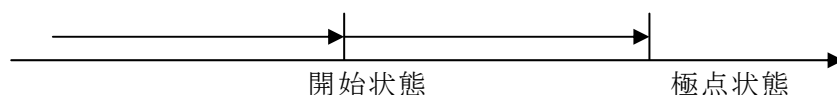
- (11) a. 外边飘上雪花了。
b. 女人们又嚷嚷上了。

(以上は范晓 1995)

日本語の「震える」と同じ意味の“哆嗦”に“上”が付いた“哆嗦上”は、震えだすという意味を表す。しかし、日本語の「震え上がる」は事態の極点状態に到達することを表す。つまり、中国語の“上”は事態の開始状態を表すのに対し、日本語の「上がる」は事態の極点状態を表すということである。

以上見てきたことを次のようにまとめられる。

中国語の“V+上”と日本語の「V+上がる/上げる」は、主体または客体の移動を表す場合、ほぼ同じ意味を表す。事態について言う場合は、[到達]という意味特徴を共通して持っている。到達するには、限界点が必要である。日本語の「V+上がる/上げる」は、極点状態への到達を表す。一方、中国語の“V+上”は、(i)後ろに数量詞が生起する場合、その数量に到達するという意味で極点状態を表すが、(ii)そうでない場合は、その動詞の表す事態が発生するという意味で、事態の開始状態への到達を表す。



アスペクトで言えば、中国語の“V+上”は事態の開始状態を表す場合、始動相と解釈でき、日本語の「V+上がる/上げる」は、前の動詞が生産動詞である場合、動作の終結を表すため、終結相と解釈できる。

コーパスを利用した日本語の複合動詞の研究

名古屋大学 杉村 泰

1. はじめに

コーパス：インターネットの WWW ページ。検索エンジン goo (<http://www.goo.ne.jp/>)
 検索：『日本語基本動詞用法辞典』（大修館書店）にある 852 語を含む 1071 語の動詞について検索した。（2006 年 2 月 19 日～2006 年 3 月 31 日）

表記：「一直す」、「一返す」、「一戻す」は漢字表記のみ検索した。それぞれ「～する」、「～した」、「～しない」、「～しなかった」、「～します」、「～しました」、「～しません」、「～して」形のヒット数を調べた。（以下の数字はその合計ヒット数を示す）

2. 「一直す」

「一見、行為の繰り返しを表すように見えるが、「一直す」は“前の行為の結果が好ましい状態ではないので、再び同じ行為を繰り返して、前の結果を正す”意識がある。行為の繰り返し意識よりは、結果の修正意識が強い」（森田 1989:834）（下線は杉村による）

表 1 「一直す」と共起する動詞上位 30 語

| | 前項動 詞 | 一直す | 一返す | | 前項動 詞 | 一直す | | 前項動 詞 | 一直す |
|---|----------|---------|---------|----|----------|--------|----|----------|-------|
| 1 | 見る | 768,582 | 85,416 | 11 | 買う | 25,192 | 21 | 塗る | 9,116 |
| 2 | 書く | 161,085 | 175 | 12 | 惚れる | 21,852 | 22 | 打つ | 8,658 |
| 3 | 作る | 131,524 | 70 | 13 | 取る | 19,944 | 23 | 勉強する | 7,553 |
| 4 | 読む | 120,984 | 284,952 | 14 | 建てる | 17,773 | 24 | 入る | 6,706 |
| 5 | 考える | 110,69 | 28 | 15 | 言う | 14,859 | 25 | 掛ける | 6,186 |

| | | | | | | | | | |
|----|-----|---------|---------|----|-----|--------|----|-----|-------|
| | | 1 | | | | | | | |
| 6 | 立てる | 101,933 | 52 | 16 | 付ける | 14,221 | 26 | 貼る | 6,039 |
| 7 | 出る | 89,237 | 2 | 17 | 撮る | 13,026 | 27 | 締める | 5,967 |
| 8 | 持つ | 61,593 | 264 | 18 | 聞く | 12,634 | 28 | 焼く | 5,621 |
| 9 | 思う | 50,137 | 116,808 | 19 | 組む | 11,325 | 29 | 引く | 4,762 |
| 10 | 入れる | 36,329 | 401 | 20 | 描く | 10,636 | 30 | 調べる | 4,762 |

(1) 飲み足りないので酒を飲み直す。(二度目)

(2)a. アメリカから製品を輸入し直す。(一度輸出して再輸入。輸入は一回)

b. 今後は復縁という結果にこだわらず、少しずつでも関係を築き、距離を縮め直していけると良いですね。(http://weblog.kitsune.ne.jp/archives/2005/10/post_77.html)

2006/4/12

(「縮める」のにしくじったわけではない。元の「縮んだ」状態に戻す。「*縮め戻す」)

c. 戦後に独立し直した国が、近代化の道を進めば、過去のそうした歴史は面白くないし、そういうものに反発するのは、当然と思いますよ。

(http://www.e-net.or.jp/user/has/102.html) 2006/4/9

(二度独立するわけではない。元の「独立した」状態に戻す。「*独立し戻す」)

「いずれも行為がある結果を生み出し、その結果が客観的な事物・事態として後まで残る」という意志的な他動詞である。単なる動作「歩く、泳ぐ、立つ、寝る……」などの自動詞には「一直す」はつかない(「出る」のみ「出直す」となるのが唯一の例外)(森田1989:835)

表2 「一直す」と自動詞の共起

| | 前項動詞 | 一直す | | 前項動詞 | 一直す | | 前項動詞 | 一直す |
|----|------|--------|----|------|-------|-----|------|-----|
| 7 | 出る | 89,237 | 31 | 寝る | 4,430 | 110 | 立つ | 351 |
| 12 | 惚れる | 21,852 | 32 | 座る | 4,297 | 192 | 走る | 103 |
| 23 | 勉強する | 7,553 | 57 | 生きる | 1,282 | 197 | 歩く | 95 |
| 24 | 入る | 6,706 | 97 | 登る | 525 | 398 | 泳ぐ | 11 |

※「食べ直す」、「飲み直す」も飲食物自体を修正するわけではなく、動作主の状態(満腹感など)に関わることなので、自動詞の働きをしていると考えられる。(英語の“I ate.”)

3. 「一返す」と「一戻す」

(3)a. (自分→相手) 言い返す、蹴り返す、投げ返す 押し戻す、払い戻す、差し戻す

b. (自分←相手) 取り返す、引き返す、奪い返す 取り戻す、引き戻す、買い戻す

表3 「一返す」上位10語

| | 前項動詞 | 一返す | 対象 |
|--|------|-----|----|
| | | | |

表4 「一戻す」上位10語 (移動)

| | 前項動詞 | 一戻す | 対象 | 一戻す | 対象 |
|--|------|-----|----|-----|----|
| | | | | | |

| | | | |
|----|----|-----------|---|
| 1 | 繰る | 1,378,991 | 再 |
| 2 | 読む | 284,952 | 再 |
| 3 | 引く | 124,425 | ← |
| 4 | 思う | 116,808 | 再 |
| 5 | 見る | 85,416 | → |
| 6 | 折る | 79,194 | → |
| 7 | 取る | 78,284 | ← |
| 8 | 聞く | 67,278 | → |
| 9 | 言う | 58,250 | → |
| 10 | 送る | 47,766 | → |

| | | | | | |
|----|-----|---------|---|---------|---|
| 1 | 取る | 78,284 | ← | 405,729 | ← |
| 2 | 買う | 9 | → | 24,151 | ← |
| 3 | 呼ぶ | 544 | ← | 24,085 | ← |
| 4 | 引く | 124,425 | ← | 21,055 | ← |
| 5 | 払う | 16 | → | 16,109 | → |
| 6 | 連れる | 56 | → | 11,651 | ← |
| 7 | 押す | 11,659 | → | 6,452 | → |
| 8 | 書く | 175 | → | 5,883 | → |
| 9 | 差す | 1,406 | → | 4,677 | → |
| 10 | 埋める | 41 | → | 4,150 | → |

- (4) a. 盗まれたものを取り返す。(物は動作主のほうへ来るが、行為は相手に及ぶ。反転)
- b. 青春／信頼／輝きを取り戻す。(元の状態にする。復元)
- (5) 「書き戻す」、「読み戻す」(コンピューター用語)、「受け戻す」、「足し戻す」、「割り戻す」(経済用語)

参考文献

森田良行 (1989) 『基礎日本語辞典』角川書店

日汉指示词之间的语义与功能差异

东洋大学 王 亚新

要旨：日本語には「コ・ソ・ア」の三系列指示詞があるのに対して，中国語では“这／那”の二系列指示詞系統を持っている。ソ系指示詞に対応する指示域を持たないので，日本語を中国語訳にする際，いかに指示詞を選択するかという問題が生じる。本発表は『日中対訳コーパス』のデータに基づいて，現場指示・時間指示・文脈指示などの側面から日本語と中国語の指示詞を分析し，それぞれの意味と機能上の特徴をとらえようとする。

1. 日汉指示词的差异

1) 在反映空间概念上，日语指示词的コ和ア以两个绝对端点（最近点和最远点）为参照，ソ以コ和アの指称域为参照点。绝对参照点形成コ和ア表示强势指示，而ソ表示弱势指示的功能特征。同时，由于ソ属于相对参照，因此在コ・ソ和ア・ソ之间会出现一个中间混淆域，但コ・ア之间则在语义上绝对相互排斥。

2) ソ在会话中通常以听话人为参照点，因此很多人认为コソア不是表示近、中、远称，而是表示我、你、他这三个指称域。但这种功能只限于会话中的“对立型”，不包括“融合形”，也不能覆盖时间指称和篇章指称。就整个日语指示词系统来说，对空间的认知仍然是最基本的语义因素，准人称用法是从空间指称扩展而成的一种派生功能。

3) 汉语指示词为双系列指示词，反映了一种直观的，以两个绝对参照点来划分指称域的认知方式。“这”和“那”表现出一种“远／近”的对立关系。同时由于是两极划分，所以“这／那”之间会出现一个中间混淆域。

2. 日汉指示词之间的不对应分布

日语的ソ由于不依赖绝对参照点，因此可以摆脱空间概念的约束（如表示指听话人时不论对方远近都能使用ソ），并派生出类似汉英语中第三人称指示代词“IT”或“它”的功能，从而具有较大的语义覆盖域和很高的使用率，使日汉语之间形成了一种不对应分布。

我们根据日译汉 10 个作品中大约 15,700 个指示词进行的统计反映了这种不对应状况。

| 日语原作 | 汉语译作 | | | | |
|-------------|-------------------|-------------------|----------------|----------------|--|
| 日语指示代词 | 非指示词翻译 | 指示词翻译 | | | |
| | | 总数 | 这 | 那 | |
| コ系： 4522 例 | 1863 例 (41.2%) | 2659 例 (58.8%) | 2599 例 (97.7%) | 60 例 (2.3%) | |
| ソ系： 10278 例 | 6741 例 (65.6%) | 3537 例 (34.4%) | 2116 例 (59.8%) | 1421 例 (40.2%) | |
| ア系： 889 例 | 358 例 (40.3%) | 531 例 (59.7%) | 44 例 (8.3%) | 487 例 (91.7%) | |
| 总数：15689 例 | 8962 例 (57.1%) | 6727 例 (42.9%) | 4759 例 (70.7%) | 1968 例 (29.1%) | |

3. 现场指称（可视空间指称）

日语指示词由于兼具人称代词的部分用法,因此使用率比汉语高。其中 ソ 可以摆脱空间概念的约束。 ソ 除了指称听话人以外,同时也具有中称的某些特征,当说话人和听话人保持一定距离时,在双方之间也可以有一个中距离的 ソ 指称域。(如乘客给司机指路时说 そこ 等)

汉语指示词对于远近的区分主要依据心理尺度,即:对说话人可控范围内的事物使用“这”,可控范围外的事物使用“那”。这个可控范围包括了空间、心理、话题等各种因素,因此具有较大的随意性。这也是造成中国学生缺少对 コソア 的区分意识的原因之一。

日语的 コ 和 ア 同样具有“远近”的语义成分。因此与汉语相对接近, ソ 由于表示中距离,因此不论译成“这”或“那”都会带出 ソ 所不具有的“远/近”语义色彩,所以日译汉时需要根据汉语的原则来重新解析。除使用“这/那”外,还要考虑人称代词等其他指示词。

4. 时间指称

时间是类比空间形成的概念,因此具备了空间概念的多数语义特征。日语的 コ 表示现在, ア 表示过去, ソ 表示过去和未来。在表示过去上, ア 表示双方的共同信息,或听话人自身的回忆, ソ 表示说话人或听话人提出的,获得对方认同的信息。其中, コソ 和 アソ 之间有时可以换用,但 コ 和 ア 则相互排斥。

在时间概念上, ア 表示一个与“现在(コ)”完全隔断的“过去”时间域。跟空间一样,它能够以遥远的“过去”来作为时间上的绝对参照点,所以既可以表示共有信息,也能表示非共有信息。与此相反, ソ 在表示“过去”时,实际上是一种“承前指称”的用法,即由说话人(或听话人)首先提出一个时间,继而使用 ソ 来回指这个时间。由于是回指用法,所以 ソ 既能表示过去也能表示未来,并且较少“远近”的语义色彩。

コソア 都可以表示“过去”,但具有不同的语义特征。就像一个可伸缩的变焦镜头,使用 ア 将事件推到遥远,使用 コ 将事件拉到眼前, ソ 则是一种客观性观察,不分“远近”。

汉语中的“这”主要表示“现在”(包括靠近“现在”的过去或未来)，“那”表示远离现在的“过去”或“未来”。由于 コ 和 ア 也分别带有表示“近远”的语义色彩,因此在“这: コ ”和“那: ア ”之间能够找到一个比较整齐的对应关系。

5. 篇章指称

日语的篇章指称主要由 コソ 来承担。其中 コ 可以表示说话人自己提出(或将要提出的)的信息; ソ 表示说话人或听话人提出的,但获得对方认同的信息。承前指称实际上跟现场指称中的“融合型”具有语义上的关联。 ソ 表示的是“我们(包括读者)”一方所面对的“对方事物”。

汉语的“这/那”主要是根据“这件事”和另一个不同的“那件事”之间的这种“话题·心理”的距离来进行区别的。由于汉语的篇章指称继承了现场指称的语义特征,因此与时空或心理距离有紧密的联系。所以,篇章指称用法中通常也伴随有时空、心理的远近以及话题和非话题等附带语义色彩。

6. 结语

ソ 在现场指称和空间指称上表示一种非远非近的相对指称域,同时兼有第二人称指示代词的功能;在篇章指称中表示承前回指,同时兼有第三人称指示代词的功能。由于这种指称域

很难同“这”或“那”完全对应起来。因此在日译汉时，就要根据原文的语义关系和汉语指示词的运用原则重新进行分析。

对于习惯于将ソ理解为“那”的人来说，将ソ译成“这”会遇到一些心理障碍，但如果弄清了ソ的语义特征和指称功能的话，就会在翻译中更好地去处理它。

主要参考文献：

佐久間鼎 1951「指示の場と指す語——「人代名詞」と「こそあど」——」

高橋太郎 1956「『場面』と『場』」（ひつじ書房『(日本語研究資料集) 指示詞』（金水敏ほか編）所収）

久野 暲 1973『日本文法研究』大修館書店

———1983『新日本文法研究』大修館書店

金水敏・木村秀樹・田窪行則 1989『日本語文法・セルフ・マスターシリーズ4・指示詞』くろしお出版

堀口和吉 1990「指示詞コ・ソ・アの表現」『日本語学』3月号，明治書院

木村英樹 1997「中国語指示詞の「遠近」対立について—「コソア」との対照を兼ねて」

プロトタイプ理論に基づいた受動構文の日中対照

早稲田大学大学院 葉 菁

キーワード

プロトタイプ効果、状態化、動作主の非焦点化、被動者の話題化、受影性

本発表は、プロトタイプ理論に基づき、受動カテゴリーのプロトタイプと非典型例から、日本語と中国語の受動構文の事象構造・表現機能・意味特徴・統語形式を認知的に分析し、両言語に見られる形式上・意味上における異同の原因を認知的な観点から考察することを目的とするものである。

プロトタイプ (prototype、原型、典型例) とは、1970 年にエリナ・ロッシュ (Eleanor Rosch) らによって提唱された認知心理学・言語学上の概念であり、カテゴリー認知に関するモデルの一つである。プロトタイプの研究は、認知心理学の方向のほか、言語学の方向に向けられる。ことに、言語学者の研究によって、プロトタイプモデルは、名詞などの具体的な現実物のみならず、人間がもつ言語概念を含め、より抽象度が高い概念への解釈をめざして発展するようになった。しかし、語彙の多義性についての研究が多く見られる一方、構文への研究はまだ少ないようである。

プロトタイプに挙げられるプロトタイプ効果 (prototype effect) は、「カテゴリー内に見られる不均整と最良例から徐々に離れていく」(Lakoff1987: 68) という現象であり、言語のすべての領域にわたって現れている。プロトタイプ効果の内容 (大堀 2002: 35-36 を参照) に基づき、受動カテゴリーについては、次のような一般化ができる。

- 1) 受動カテゴリーにはプロトタイプ効果がみられ、中心例とそうでないものが存在する。
- 2) 受動カテゴリーの中心例は、意味・形式の両面について一定の特性をもち、二つの面における典型性の度合いは相関する。

この受動カテゴリーのプロトタイプは、①同じカテゴリーのメンバーであるか否かの判断の参照点になる、②習得が早い、③非典型例よりアウトプットがしやすいという特徴が見られると言われている。ゆえに、プロトタイプモデルで言語カテゴリーを構築することは、母国語の発達が果たした外国語学習者にとって、非常に重要な認知プロセスである。また、目標言語と母国語とのカテゴリー構造の比較・対照は、カテゴリーの定着度の高い習得や構文ネットワークの構築に直接つながるものとなる。こうした作業によって、外国語学習者の目標言語の言語カテゴリーへのより正確な把握、より習得度が高い学習プロセスが期待されると思われる。

受動カテゴリーにおいては、

- (1) カメラは弟に壊された。
- (2) 照相机被弟弟弄坏了。

例 (1) と例 (2) のような受動カテゴリーのプロトタイプに近い例がある。このような文は、(i) 状態化; (ii) 動作主の非焦点化; (iii) 被動者の話題化、という三つの基本

的な機能領域を持ち、また構文的には、日本語のほうは、「NP1 が NP2 に V (ra) reru」、中国語のほうは、「NP1 被 NP2+V」という構文的プロトタイプで表している。

もちろん、受動カテゴリーには、プロトタイプから離れた文も多数ある。

(3) 花子は子どもを叱られた。

(4) 源氏物語は、紫式部によって書かれた。

(5) 立刻又被王胡扭住了辫子，要拉到墙上照例去碰头。(たちまち辮髪をひげの王につかまれ、へいのところへ連れて行かれて、例の調子でこづかれた。)

(《阿Q正传》鲁迅)

(6) 他看了一眼我，似乎想问什么，接着又把话咽下了，还想不停的往外跑，但被我们把他留下了。(彼は私を見て、なにか問いかけたい様子だったが、言葉をのみこんで、立ち止まろうともせずそのまま出て行こうとした。そこを私たちに呼びとめられた。)

(《我在霞村的时候》丁玲)

例(3)と例(5)は、話題化されているのは直接影響を受けた被動者ではなく、意味的プロトタイプから離れたものであり、例(4)と(6)は、構文プロトタイプと違う形式で表現されている。このような文は、受動プロトタイプから離れ、非典型的な構文とされる。

本発表は、このようなプロトタイプから離れた文がどのようにプロトタイプから拡張されたのか、そしてプロトタイプ効果を生む受動カテゴリーの構造とはいったい何であるかについて、受動構文に見られる受影性(affectedness)や事態(event)構造を分析して、日中両言語の受動カテゴリーを考察していきたい。

参考文献

Lakoff, George. 1987, *Women, Fire, and Dangerous Things: What Categories Reveal about the Mind*, The University of Chicago (『認知意味論：言語から見た人間の心』池上嘉彦・河上誓作他訳，紀伊国屋書店，1995 第2刷)

大堀壽夫 2002, 「認知言語学」, 東京大学出版会

連語論から見る「“上” + 空間名詞」について

大東文化大学 高橋 弥守彦

キーワード：くみあわせ むすびつき 基本義 派生義 位置移動の動詞

1. はじめに

本稿では位置移動の動詞“上”と空間名詞との関係について連語論の立場から、連語のむすびつきにおける基本義と派生義とを分析し、多義語となる位置移動の動詞“上”と空間名詞の基本義と派生義およびそのメカニズムを明らかにする。

連語論では単語の意味変化についてもカザラレ動詞を中心とする連語の「むすびつき」のなかで起きる、と考えている。次に例文を分析することにより、位置移動の動詞“上”と空間名詞との連語内部におけるむすびつきの連語的な意味を明らかにしてみよう。

(1) 上坡真累。(『荒』p. 529)

坂をのぼるのはとても疲れる。

(2) 他上汽车了。(『荒』p. 529)

彼は自動車に乗った。(同上)

(3) 下批你再要不到，我就上医院作手术，这辈子不生了！(4-1-102)

この次もらえなかったら、すぐ病院へ行って手術しますからね。一生、子供は生みません！(4-1-102)

(4) 他们下午上我们学校参观语言实验室。(作例)

彼らは午後、私たちの学校へ視聴覚教室を見学にきます。

連語論では動詞と空間名詞とのくみあわせに連語論的な意味と構造的なタイプを構築し、連語の機能を分析する。

2. 意味変化のメカニズム

本節では単語の意味変化がどのようにして起こるのか、単語の意味変化に関するメカニズムについて、奥田靖雄の連語論と鈴木康之の主張する構造的なタイプに倣い、上記に挙げた「“上” + 空間名詞」によって、連語論の立場から、そのメカニズムを言及してみよう。

i. 移動のむすびつき

“上”

移動を意味する動詞

空间词语

場所を意味する名詞

位置移動の動詞：“上”

場所を意味する名詞：坡(1)

「“上” + 空間名詞」の日本語訳：“上坡”「坂をのぼる」

位置移動の動詞“上”の基本義は「下から上に移動する」角度性移動である。上掲の“上”

の日本語訳に見られる「のぼる」「あがる」は「下から上に移動する」角度性移動を表している
 ので単語レベルで見れば基本義である。それ以外は派生義と言えるであろう。例(1)の“坡”
 は連語レベルでも単語レベルでも場所を表すので、「場所を示す基本空間名詞」と名付ける。

ii. 到着のむすびつき

“上”

空间词语

到着を意味する動詞

場所を意味する名詞

位置移動動詞：“上”

場所を意味する名詞：汽车(2)

「“上”+空間名詞」の日本語訳：“上汽车”「自動車に乗る」

上掲の連語「“上”+空間名詞」における位置移動の動詞“上”の日本語訳「乗る」は、連
 語レベルで見ると「到着のむすびつき」の中では到着の局面を表しているだけなので、「到着を
 示せる派生動詞」と言えるであろう。“汽车”などの単語は単語レベルでは一般名詞であり、
 場所は表さないが、連語レベルでは場所を表す。しかし、“上汽车”は連語論の表す連語的
 な意味では「到着のむすびつき」を作り、“汽车”は主体の到着するところを表す空間名詞
 である。空間名詞はいずれも形状別に見ると角度性の空間名詞である。このような空間名
 詞を連語論では「場所を示せる派生空間名詞」と言う。

iii. 空間的な移りのむすびつき

“上”

空间词语

空間的な移りを意味する動詞

場所を意味する名詞

位置移動動詞：“上”

場所を意味する名詞：医院(6)，我们学校(7)

「“上”+空間名詞」の日本語訳：“上医院”「病院へ行く」、「上我们学校」「私たちの学
 校に来る」

上掲の連語「“上”+空間名詞」における位置移動の動詞“上”の日本語訳「行く」「来る」
 は、連語レベルで見ると「空間的な移りのむすびつき」の中でも「下から上に移動する」角度性
 移動を表していなく空間的な移りの意味を表しているだけなので、「空間的な移りを示せる
 派生動詞」と言えるであろう。

3. おわりに

単語の意味変化は奥田靖雄が多義語で指摘するように連語のむすびつきの違いによっ
 て生じる。それを明らかにしたのは上記に示す鈴木康之の主張する「構造的なタイプ」で
 ある。本稿は二人の説を中国語によってその正当性を明らかにしたものである。

テモラウ構文と使役文・受身文との相補関係

大東文化大学語学 王 燕

0. はじめに

王（2004）は、益岡（1997）の「それぞれの構文は孤立して存在するのではなく、他の構文形式と相互に有機的な関係を保って存在する」ものであるという考えからヒントを得て、テモラウ構文の外的連関について調べたものである。構文の外的連関というのは、「異なる構文の間の意味的なつながりを問題にする」ものである。本研究は王（2004）を発展させたものである。

1. テモラウ構文のヴォイス性について

形態論はともかく、「一つの事態が幾つかの構成者で組み立てられているとき、その構成者のどれを文の中心者（主格）とするかという、立場の相違にかかわる文法カテゴリー」をヴォイスとすれば、主格の転換によって授受関係を表す授受補助動詞構文もヴォイス的な表現となる。しかし、授受補助動詞構文の中で、テモラウ構文だけがヴォイス的な表現として注目されてきた。テモラウ構文をヴォイス的な表現と認めるかどうかは、研究者のヴォイスに対する捉え方に左右されているようである。

木村（1991）のヴォイスに対する規定と仁田（1991）の「間接テモラウ態」の定義を見合わせると、授受補助動詞構文には、テヤル・テクレル対テモラウという変形関係によるヴォイス的な対立関係が存在しているだけではなく、テモラウ構文の中には、テモラウ構文とその基本文（テモラウ構文の先行動詞の動作主が主語である文）との間の派生関係によるヴォイス的な対立関係も存在していることを認めることができる。

2. テモラウ構文と使役文・受身文との関係

池上（1981）では、使役者の働きかけと被使役者の自主性という観点から、「（被使役者の）次郎が行った」という事象の生起との「（使役者の）太郎」の関わり方を段階ごとに（1）のように例示している。

- (1) I 太郎は次郎を行かせた。
- II 太郎は次郎に行かせた。
- III 太郎は次郎に行ってもらった。
- IV 太郎は次郎に行かれた。

(1) では、「次郎が行く」という出来事を引き起こそうとする「太郎」の積極的な意志がもっとも働いているとされるのは（1 I）で、（1 IV）になると、「次郎が行く」という出来事を引き起こそうとするか否かという「太郎」の意志など一切関係なく、起きてしまった出来事からの影響だけを主語である「太郎」が受けることになる。この4段階の中の（1 I）と（1 II）は、使役文であることが同じで、強制の意味合いの強弱によって分け

られていることが分かる。本研究では、テモラウ構文の使役文と受身文との相補関係を明らかにしようとするものなので、ここでは、使役文に見られる強制の意味合いの強弱を問題とせず、次の(2)のような例示の中で、テモラウ構文を捉えてみたい。

- (2) I 太郎は次郎を行かせた。
- II 太郎は次郎に行ってもらった。
- III 太郎は次郎に行かれた。

(2 II)は「太郎」から「次郎」への働きかけのあるものと働きかけのないものの二通りの解釈があり得る。働きかけのあるものと解釈すれば、一種の使役文となる。働きかけのないものと解釈すれば、受身文に見られる分類と同じように、直接受益のテモラウ構文と間接受益のテモラウ構文に分類することができる。

3. 使役文と相補的な関係にあるテモラウ構文

- 3. 1 使役的授益のテモラウ
- 3. 2 使役的謙譲のテモラウ
- 3. 3 使役的依頼のテモラウ

4. 受身文と相補的な関係にあるテモラウ構文

- 4. 1 直接受益のテモラウ

直接受身文の中の中立的な意味しか持たない「直接対象の受身」「相手の受身」「持ち主の受身」を、文の知的意味を変えずに受益表現に変えることができるだけでなく、「持ち主の受身」の中の迷惑受身まで受益表現にすることもできる。

- 4. 2 間接受益のテモラウ

利害の受取において、第三者の受身文と対立的な関係にありながら、アイロニ一的な一面も持つため、慣用表現の形で、迷惑受身のインパクトを柔らかくする役割も果している。

5. まとめ

ある事象の生起に関与する関与者の関わり方の違いによる強制使役文から第三者の受身文への移行途中に現れているテモラウ構文は、授受補助動詞構文の一つとして、利益または不利益の行為の授受を表す授受表現の表現形式として使われているだけでなく、使役文と受身文が表現しきれないところをフォローするようにも使われている。

关于日语汉字的定位问题

北京大学 潘 钧

漢字が日本語に受容され、既に日本語の文字の一種として成長してきたことは言うまでもない。しかし、様々な受容や変容を受けたとはいえ、日本語の漢字は果たして質的にまで変わってきたともいえるか、もし言えるとしたら、中国語の漢字とどう違うかという問題が出てくる。つまり、日本漢字の位置づけをどうすればいいのかというのが本発表の狙いとなっている。小論では、中国人や日本人の漢字論から手をつけ、漢字の位置づけに際して考えるべき要素として漢字の変種ともいえるもの（例えば国字や国訓・あて字・字音形態素）から、漢字の表音機能・漢字意識まで多くの物差しを取り上げたうえ、分析を加え、現代日本語の漢字は既に独立し、中国語の漢字と質量ともに異なっていると結論しようとするものである。

一、中日汉字的异同

1、日本“常用汉字”与中国汉字相比较

銃、式、貸、缶、瞬、憩、紺、獲、濯、妃、岬、詰、胴、朕、戾、効、璽、謁、祉、岐、塾、魅、邸、瀬、曜、繰、駅、渦、嗣、癖、繕、暇、暮、募、禅、坂、祈、褒、冗
如“銃”这个字在古代中国也是兵器的意思、但后来被“槍”代替。

如“戾”这个字作为“もどる”的标记字，但在汉语中用做原义，“暴戾”，为书面语。

2、偶然还是必然？差异属于量还是质？

二、中国人对（日本）汉字的认识

○康梁的见解。梁启超颠倒“汉文训读法”，提出采用所谓“日文训读法”。说：

“学日本語者一年可成，作日本文者半年可成，学日本文者数日小成，数月大成”——《论学日本文之益》

○汉字文化圈 借用，变异。

只是从结果上着眼，从字形、字义上判断居多，缺乏历史的角度和语言学的角度。

○何华珍的观点

三、日本人对（日本）汉字的认识

1、古代汉字的特殊地位

汉文体一直绵延至江户；记录体等变体汉文；符号功能（あて字）。

2、本居宣长的“汉意”

排斥中国文化，汉字（汉语）首当其冲。

3、大槻文彦的“漢の通用字”

4、时枝诚记的学说“言語過程説”

5、杉本つとむ的“日本汉字论”

认为日本汉字“独立”，提出“漢字語”概念，思考出发点与其说是藉此概括一切用汉字做标记的词，莫如说是想标明日本汉字独立性的立场。

6、中田祝夫的譬喻

“海水と淡水との差は、わずか二、四パーセントの塩分の有無に過ぎない。しかし、この少量の塩分の有無によって、海水と淡水との差が生じ、やがて海水の生物と淡水の生物との大差が生じた。それが無限の大差のようであるが、その質的大差は実は僅少の塩分の小差による”。

7、子安宣邦的“他者论”——“不可避の他者”

反驳本居以来认为借用汉字表述“やまとことば”的观点。

四、汉字的定位

1、意义

日语汉字的定位问题是研究日语文字、词汇乃至日语本身的根本前提。

“不許複製”、“於清華大学”。

“相変わらず（不相変・相不変）”、“あしからず（不悪）”、“とりあえず（不取敢）”（所谓“漢文風の転倒”）

笔者曾论及日本汉字特殊性及汉字性质功能，并对“あて字”及汉语词的变异有过考察，深感研究汉字日本化的必要性。如“あて字”及汉文体式的表达形式背后所透射出来的符号功能非“误用”或“游戏”即能说清楚了的，它们的出现涉及文化、文体以及其他观念、技术层面上的因素。

2、方法

判断日本汉字的和化既可从个别汉字的演变历史入手，也可从宏观上做一个总体的把握。从宏观上看，断定是否汉字实现了日本化？或者说多大程度上出现了变异、以至于我们不能不认定日本汉字走上了比较独立的发展轨迹？解释这些问题需要从质和量两个方面进行考察。主要有以下几个参考指标：

- ① 除了传统的字音、字形、字义之外，还包括对汉字的使用，甚至要对日本人的汉字意识（对汉字的认知及用字意识）进行考察。
- ② 还有对诸如国字、国训、假借字等汉字的变体、字音形态素（语素）的造词功能、汉字表音化的趋势等问题进行研究。

据野村，日本汉字所谓「一般用法」中占 78.5%，区别词数中音字占 56%，訓字占 44%，相差不多，但在总计词数中音字占 81.4%，即绝大多数，说明在报纸中，音读词为主要用法。

- ③ 考察汉字在日本人的文字生活、文化层次方面的影响和作用。

参考文献

中田祝夫（1982）『日本語の世界 4 ——日本の漢字』中央公論社

高島俊男（2001）『漢字と日本人』文藝春秋

子安宣邦（2003）『漢字論——不可避の他者』岩波書店

何华珍（2004）《日本汉字和汉字词研究》中国社会科学出版社

中日 V+N 定中结构二字词的比较

北京外国语大学 朱 京伟

按照前语素和后语素之间的不同语法关系，汉语和日语的 V+N 结构二字词可以分为两大类：一类是动词性前语素（V）支配名词性后语素（N）的 V+N 动宾结构二字词（如：爱国、补课、插花），另一类是动词性前语素修饰名词性后语素的 V+N 定中结构二字词（如：怒潮、寝室、燃料）。从数量上看，V+N 动宾结构二字词比 V+N 定中结构二字词更多一些，但无论在汉语词和日语的「漢語」中，这两类 V+N 结构二字词的数量都在各种构词类型的前 5 位之列。此前，笔者（2006）曾对中日 V+N 动宾结构二字词的基本情况做过初步的分析比较，本文将在前文的基础上，进一步开展对中日 V+N 定中结构二字词的研究。

1. 相关的先行研究

在国内方面，尚未见到专门论及 V+N 定中结构二字词的论文。首先提出这一问题的是旅日的中国学者，他们在进行中日汉字词对比研究的过程中注意到：V+N 结构的二字词存在着“V+N 动宾”和“V+N 定中”两种语素关系不同的构成方式，而汉语和日语的 V+N 结构二字词在构词上又各有特点。比如，沈国威（1990）指出：“V+N 定中结构在日语里是能产的构词类型而在汉语里则不是”（P. 134）。其原因在于“在汉语里，无论是 V+O 动宾结构还是 V+N 定中结构，其构词类型都是 V+N 结构，为了防止由此而产生的歧义，处于从属地位的 V+N 定中结构经常需要让位于 V+O 动宾结构。即是说，在遇到 V+N 结构的词语时，应优先按照 V+N 动宾结构去理解”（p. 133）。同时，在谈到汉语 V+N 定中结构二字词的成词条件时，沈国威强调：“在 V+N 结构的动宾式语义关系无法成立时，才有可能构成定中结构的二字词。换言之，避免构造上的冲突是构成定中式二字词的主要条件”（p. 128）。此外，陈力卫（1998）在论及中日 V+N 结构二字词时说：“动词有自他之别，汉语原本只能由自动词作偏正修饰，构成诸如‘行人、住家’之类的 V+N 结构二字词，…如果前项是他动词就牵扯到带宾语，所以难以成词。…即使现代汉语里有这类结构的词，多半也是从日本反向输入的。但是在日语中，前项无论是自动词还是他动词都可以构成 V+N 结构二字词”（p. 458）。

遗憾的是，沈、陈二人的论文所举出的词例不多，因而显得论据不足，读者也难以把握问题的全貌。但他们二人的论文给我们提出了一些值得思考的问题，比如：（1）汉语中的 V+N 定中结构二字词究竟有多少？是否在数量上少于日语的同类词？（2）中日 V+N 定中结构二字词之间有哪些相同点和不同点？（3）在构词方面，V+N 定中结构二字词和 V+N 动宾结构二字词是否相互排斥？（4）中日 V+N 定中结构二字词之间的借用关系如何？等等。为了弄清这些问题，首先需要对汉语和日语双方的 V+N 定中结构二字词进行全面的调查，在有充分依据的基础之上，再做出分析和归纳。

2. 研究对象词的抽取和整理

在 V+N 动宾结构二字词中，动词性前语素（V）对名词性后语素（N）具有支配作用，是构词的重心所在。因此，笔者（2006）采用了从抽取动词性前语素入手去收集研究对象词的

方法。相比之下，V+N 定中结构二字词的语素关系有很大的不同：动词性前语素是起修饰作用的，被修饰的名词性后语素处于中心语素的位置。那么，从动词性前语素入手的抽取方法是否仍然适用呢？其实，无论是从前语素入手还是从后语素入手，所收集到的应该是同一批对象词。考虑到动词性前语素的数目要比名词性后语素的少许多（参见表 1 和表 2），而且二字词的首字（即动词性前语素）便于进行词典检索，笔者仍然采取了从动词性前语素入手的抽取方法。同时，考虑到动词性后语素在 V+N 定中结构二字词中是中心语素，对后语素的整体情况也进行了统计和分析。

具体的方法是：在日语方面，先利用“常用汉字表”抽出具有动词性含义的汉字，其中包含“音训兼有”的汉字和只有“音读”没有“训读”的汉字。再利用『岩波新漢語辞典』（1994），从这些汉字作前语素的词群中抽出属于 V+N 定中结构的二字词。按照这样的方法，共收集到日语的 V+N 定中结构二字词 1275 个。在汉语方面，笔者以俞士汶（1998）“动词表”中所列的 2000 余个动词作为动词性前语素的调查范围，同时利用《现代汉语规范词典》（2004）对词语作了补充，共收集到汉语的 V+N 定中结构二字词 2223 个。以上结果表明，V+N 定中结构二字词是日语和汉语双方共有且成词量相当可观的构词类型。汉语中不但有 V+N 定中结构二字词，而且数量大大多于日语的同类词。由此可见，认为汉语的 V+N 定中结构词量少、能产性弱的看法是不正确的。

3. 动词性前语素的主要特征

有的研究者认为，在汉语中，为了防止产生歧义，只有在 V+N 动宾结构的语义关系无法成立时，才能构成 V+N 定中结构二字词。或者认为，汉语只有前语素是自动词时才能够构成 V+N 定中结构二字词，而日语无论前项是自动词还是他动词都可以构成 V+N 定中结构二字词。为了验证以上观点是否正确，需要弄清中日 V+N 定中结构中的动词性前语素的性质。

90%以上的日语前语素属于“中日共有”的类型，这也从一个侧面反映出中日 V+N 定中结构二字词之间可以互通的部分相当多，完全有可能和有必要进行比较研究（详见后文）。与此相对，属于“日语独有”的前语素所占的比例很小，这些前语素虽然在汉语里也可以构词，但难以构成 V+N 定中结构的二字词。……

日本語新聞（電子版）の見出しについて

広東外語外貿大学 許 羅莎

1. 本発表の目的

従来、日本語のペーパー新聞の見出しは、a) 文字数の制限[7～20 字程度、肩見出し含む]、b) 倒置[主述倒置]、c) 文語形式、d) 省略[サ変動詞語幹で文を切る、名詞、形容動詞語幹、副詞、格助詞等で文を切る]のような特徴があるとされてきた。本発表では、電子版新聞記事の内容とその見出しと比べながら、見出しはどのようなメカニズムを持つかを議論する。

その際、2005 年 9～12 月まで、インターネットからとった日本語新聞記事（電子版）を 300 あまり（但し、広東外語外貿大学日本語科三年上半期選択科目「日文报刊选读」の資料として）利用する。集まった資料を整理した結果、特徴とするものが次の 3 点挙げられる。

A 見出しにおける表現形式は主動文が圧倒的に多い

B 見出しにおいて時制は効かない

C 省略のパタン

| | |
|---|---------------------------------|
| { | C 1 サ変動詞語幹で文を切る |
| | C 2 助詞が抜けている |
| | C 3 述部の動詞が抜けている（格助詞、または名詞で文を切る） |
| | C 4 その他 |

2. 基本的な立場

従来のペーパー新聞の見出しの特徴 a) 文字数の制限、b) 倒置、c) 文語形式、d) 省略[サ変動詞語幹で文を切る]は認める。本発表では、A、B を紹介し、C 2、C 3 を重点的に見て行きたい。

3. 見出しのメカニズム

3. 1 主動文・時制効かない

01 暴行：男が突然、撮影中の女優・山村さんの顔殴る 京都（毎日新聞 2005. 11. 29. 14 : 49)

02 わいせつ目的で中学生連れ回す、41 歳会社員を逮捕 （読売新聞 2005. 12. 3. 20 : 54)

3. 2 助詞が抜けている

03 猫：認知症女性の足の指、食いちぎる 埼玉の特養 （毎日新聞 2005. 10. 8. 12 : 45)

猫は認知症女性の足の指を食いちぎる 埼玉の特養で

04 脱線事故乗客装い見舞金詐取、58 歳女を逮捕 （読売新聞 2005. 11. 29. 1 : 18)

脱線事故の乗客を装い、見舞金を詐取した 58 歳の女を逮捕する

05 17校が新たに利用 07年度センター試験

17校が新たに利用する 07年度センター試験を

06 あいりちゃん、最後の目撃午後0時50分だった (読売新聞 2005.11.29.14:57)

あいりちゃんの最後の目撃は午後0時50分だった

07 処方薬：別の病院で処方薬名、高齢者6割分ならず——山形の診療所調査

(毎日新聞 2005.12.5.)

処方薬：別の病院で処方薬名が、高齢者は6割しか分ならず

——山形の診療所の調査では、

08 サッカー欧州最優秀選手、ロナウジーニョが初受賞 (朝日新聞社 2005.11.29.12:26)

サッカー欧州最優秀選手に、ロナウジーニョが初受賞となる

3.3 動詞が抜けている

3.3.1 格助詞で文を切る場合

09 離婚した妻に1万年間月金貨1枚を イランで判決 (2005年12月05日12時55分)

「離婚した妻に1万年間月金貨1枚を払え」と イランの法廷が判決を出す(下す)

10 中国最古文字：漢字の歴史を塗り替える可能性も (毎日新聞 2005.10.6.20:00)

中国最古の絵文字が発見され。漢字の歴史を塗り替える可能性も出てくる。

11 中国の炭鉱爆発、死者は134人に (News TBS2005.11.29. 03:48)

中国の炭鉱爆発、死者は134人にのぼる

12 広島の小1女児殺害事件から1週間が (News TBS2005.11.29. 11:39)

広島の小1年生の女の子が殺害された事件は、発生から1週間がたつ

13 暴行：電車でトラブル、上野署員が会社員に暴行 懲戒処分 (毎日新聞 2005.10.22.)

暴行：電車でトラブル、上野署員が会社員に暴行し、懲戒処分にされる

14 英で同性婚の受け付け始まる、最大1万1千組登録へ (読売新聞 2005.12.5.21:30)

英で同性婚の受け付け始まる、最大1万1千組登録すると予想する

15 王善林さん、DNA鑑定へ 残留孤児の対面調査 (雅虎日本新聞 2005.11.29.16:20)

王善林さんが、残留孤児の対面調査したが、身元判明に至らず、DNA鑑定へ持ち越す

16 月餅：中国政府が「国家基準」策定 過剰包装を是正へ (毎日新聞 2005.9.7.11:15)

中国政府が「国家基準」を策定し、月餅の過剰包装を是正することを決める

3.3.2 名詞で文を切る場合

17 入院患者殺人：人工呼吸器外した元看護助手に懲役12年 (毎日新聞 2005.11.29.12:43)

- 入院患者殺人事件 人工呼吸器を外した元看護助手に懲役12年を言い渡す
- 18 東京都の大沼さんに大賞 坊っちゃん文学賞 (朝日新聞社 2005. 11. 28. 22 : 45)
東京都の大沼さんに坊っちゃん文学賞の大賞をさずける (を授賞する)
- 19 医療事故：1歳児に10倍の麻酔剤…死亡 松戸市立病院 (毎日新聞 2005. 10. 28. 20 : 38)
医療事故：1歳児に10倍の麻酔剤を投与し、死亡させる 松戸市立病院で
- 20 日本人男性水死：新婚旅行中、妻も一時意識不明に 豪州 (毎日新聞 2005. 11. 12. 18 : 44)
日本人男性が水死：新婚旅行中、妻も一時意識不明になる 豪州で
- 21 トンネルで観光バスから出火、中央道一時通行止め (2005年11月28日14時57分)
トンネルで観光バスから出火する、中央道は一時通行止めになる (となる)

4. まとめ

省略されたものを復元するには、動詞と助詞との共起関係、さらに、その前の名詞との共起関係は重要なポイントとなる。

『今昔物語集』“被”字结构解析

——以「天竺部」「震旦部」中出现的例句为考察对象

华南师范大学 杨金萍

日本古典文献中出现了两种“被”字结构。其一表示被动，其二表示敬语。本文以和汉混合体『今昔物語集』「天竺部」「震旦部」中出现的具体实例为中心，对这两类“被”字结构的结构特点和语义特征加以考察和研究。

1. “被”字被动式

本文从形式上考察了“被”字被动式的结构特点，从是否出现施动者的角度将“被”字被动式分为两大类，继而从施动者的表示方式上将第一类再分为两类，简为A型、B型、C型。具体分类和具体实例如下。

第一类“被”字被动式

在表示施动者时，A型采用了“に”，B型采用了“の為に”的形式。

A型：“．．．に．．．被+V”

例 1. 只不如ジ、我レ今、此ノ身ヲ捨テ、此ノ翁ニ被食テ永ク此ノ生ヲ離ム」ト思テ、翁ノ許ニ行テ云ク、「今、我レ、出デ、甘美ノ物ヲ求テ来ラムトス。木ヲ拾ヒテ火ヲ焼テ待チ給へ」ト。（卷第五 三獸行菩薩道、菟燒身語第十三）

例 2. 三人ノ女、共ニ菩薩ノ御許ニ詣テ申シテ云ク、「公、徳至リ給テ人天ニ被敬給フ事无限シ。我等、年盛ニシテ端正ナル事並ブ者无シ。父ノ天、我等ヲ奉テ供養セシム。朝暮ニ候ハム」ト。（卷第一 天魔、擬妨菩薩成道語第六）

例 3. 今昔、震旦ノ口代ニ口ト云フ所ニ、遥ニ人氣ヲ遠ク去テ深キ山ノ幽ナル谷ニ、柴ノ庵ヲ造テ戸ヲ閉テ、人ニモ不被知レデ年来行フ聖人有ケリ。（卷第十 聖人、犯后蒙國王咎成天狗語第卅四）

B型：“．．．の為に．．．被+V”

例 4. 然レバ龍王、此ノ事ヲ歎キ悲ムデ、佛ノ御許ニ參テ佛ニ白シテ言サク、「我等、金翅鳥ノ為ニ子ヲ被取テ、事无シ。何トシテカ此難ヲ可免キ」ト。（卷第三 龍子、免金翅鳥難語第九）

例 5. 燈指、漸ク長大スル程ニ、父母亡ジヌ。其ノ後、其家、漸ク崩ジテ、財物、盜賊ノ為ニ被奪レヌ。庫藏空ク成リ、眷属散リ失セ、妻子弃テ、去ヌ。親族皆絶ヌ、昔シ昵シ人モ今ハ、敵ノ如シ。（卷第二 王舍城燈指比丘語第十二）

第二类“被”字被动式

第二类“被”字被动式中没有明示施动者，只能通过上下文来判断谁才是真正的施动者。

C型：“．．．被+V”

例 6. 既ニ合戦スルニ、波斯匿王ノ軍、戦ヒ負テ陳被破ヌ。如此キ三度戦フニ毎度ニ皆波斯匿王ノ方負。波斯匿王、宮ニ返テ歎悲ム事无限シ、昼ハ物モ不食ズ、夜ハ不寝ズ。（卷第一 波斯匿王、阿闍世王合戦語第卅九）

例 7. 我ガ立ル道ヲ以テ、國王ヨリ始奉リ人民ニ至ルマデ、國ノ内ノ上中下ノ人、皆此ノ道ヲ止事无キ事トシテ、古ヨリ今ニ至ルマデ國舉テ被崇ルハニ、忽ニ異國ヨリ来レル、形モ賛リ衣服モ異ナル、心モ不得ヌ者ノ、由无キ文共ヲ具シテ来レルヲ天皇令崇メ給フハ極テ不安ヌ事。(卷第六 震旦後漢明帝時、佛法渡語第二)

考察上述例句，从动作结果的语义特点上进行分析和比较，不难发现 A 型和 C 型被动式的动作结果对于受动者来说可以是利益性的，也可以是非利益性的，也可以无所谓利益性或非利益性，即动作结果可以包含正面、中性、负面三个方面的意义。而 B 型被动式的动作结果对于受动者来说只具有负面意义，即均是非利益性的结果。

表【今昔物語集】「天竺部」「震旦部」「被」字被动式的语义特征

| “被”字被动式 | 非利益性 | 中性 | 利益性 |
|-----------|------|----|-----|
| A 型 (34) | 18 | 11 | 5 |
| B 型 (27) | 27 | 0 | 0 |
| C 型 (106) | 83 | 7 | 16 |
| 合计 (167) | 128 | 18 | 21 |

『今昔物語集』的 B 型被动式在结构上与汉语被动式的“被”字结构明显不同。汉语被动式的“被”字结构的“被”前无介词“为”字。本文考察了『今昔物語集』的汉文出典，发现 B 型被动式与汉语的“……为……所 V”之间有着一定的联系（例 8 和例 9），从而可以断言古日语的“被”字被动式 B 型结构的产生在一定程度上受到了汉语“……为……所 V”的影响。

例 8. 其ノ時ニ、佛ノ御弟子ノ、諸ノ比丘、此レヲ見テ佛ニ白シテ言サク、「迦留陀夷、前世ニ何ナル悪ヲ作テ、婆羅門ノ妻ノ為ニ被殺レテ如此ノ大事ヲ曳出タルゾ」ト。(卷第二 舍衛國群賊、殺迦留陀夷語第廿九)

汉语原典：比丘见已而白佛言。迦留陀夷。本造何恶。为婆罗门妇所杀耶。

《法苑珠林卷第 73 杀生部第 4》

例 9. 下リ帰テ、里ノ中ノ少年ノ輩数人ト共ニ、田ノ中ニ出デ、遊戯ス。家ニ帰ル間、潘果見レバ、一ノ羊、牧人ノ為ニ被遺レテ独リ草ヲ食テ立テリ。(卷第九 京兆潘果、拔羊舌得現報語第廿三)

汉语原典：下归与里中少年数人。出田游戏。过于塚间。见一羊。为人所遗。独立食草。

《冥报记卷下 (14)》

2. “被”字敬语式

“被”字结构在表示敬语时，表达了作者对动作者的尊敬、敬仰之意。

例 10. 国王、此ヲ聞テ極テ耻カシト思ヒ給ヒ乍ラ、只宣旨ヲ下シテ、此ノ后ノ本ノ夫ヲ可求奉キ由、被仰下レヌ。(卷第二 天竺、依燒香得口香語第十六)

例 10 中的“说明寻找王后前夫的理由”因为是国王的动作，所以已经采用了表示尊敬之义的动词“仰下る”，而此处又在该动词的前面加一个辅助成分“被”表示作者的尊敬。

例 11. 国王、謀リ佗ビ給テ、思ヒ得給フ様、「此ノ盗人ヲ大臣ニ成テム。我レト一ツ心ニ

成シテ謀試ム」ト思給テ、大臣ニ被成レヌ。(卷第五 国王、為盗人被盜夜光玉語第三)

例 11 中，成为大臣者乃偷盗了国王玉珠的人。因为相对于国王而言，此人处于低的地位，所以使用了普通的动词“成”。但是此人聪睿过人，多次逃脱了国王设下的圈套，作者为了表示对该人的尊敬，故采用了表示作者对动作者敬仰的“被”字敬语。

关于“被”字敬语式的产生，日本学者也有考证，他们普遍认为是由被动式逐渐转化而成的。张娅娜更认为“被”字敬语并不是真正的敬语，而仅仅是“被”字被动式的崇敬用法。

但是，笔者并不认为“被”字敬语是“被”字被动式发展变化的结果，因为凡出现了“被”字结构的各种文献中，同时存在着表示被动和敬语的“被”字结构。也就是说，从现存的文献和研究中，并没有发现时间上的先被动后尊敬之过程。从日本奈良时代到平安朝，从汉语文献到日汉混合体的日语文献，一个文本中同时出现了表示被动的“被+V”和表示敬语的“被+V”。所以笔者认为“被”字敬语是“被”字被动式发展结果一说有些牵强。

同时不能忽略的是汉语“被”作为介词时可以表示被动，但作为动词时，则具有覆盖、遍及、蒙受等意。日本学者太田辰夫亦指出，在古汉语中“被”主要作动词，只要在表示被动时才作介词使用。因此笔者推测日本的汉语文献以及和汉混合体的日语文献中出现的“被”字敬语或许与汉语“被”字的动词意义和使用有关。当然，最终的结论还有待今后深入的研究和论证。

3. 结语

本文以『今昔物語集』「天竺部」「震旦部」为中心，介绍了“被+V”结构表示被动和表示敬语的具体情形。“被”字被动式可以分为 A 型、B 型、C 型等三种类型，它们在结构和语义特征方面存在着明显的差别，其中 B 型之“施动者+の為に+被+V”在语义特征上与 A 型、C 型不同，专用以表示非利益性的被动。“被”字结构表示敬语时，表达了作者对动作者的崇敬之意。

当然，上述“被”字结构并不是存在于所有的古日语文献之中。在阅读日语古典文献，尤其是和汉混合体或日本的汉语文献时，如能注意区别以上两类不同的“被+V”结构，则可以正确把握作者的意图和思想。